



～豊かな自然 輝くもがみ～

# もがみエコポリス通信

—最上総合支庁だより—

本通信は、月間号。最上総合支庁1階ロビーに常設。インターネットからは山形県庁のHP→地域情報→最上総合支庁からご覧いただけます

2008

10月号

平成20年10月1日発行  
山形県最上総合支庁

## ～もがみの地域力向上を目指して～



9月4日、最上広域交流センター「ゆめりあ」を会場に「知事と語ろう！もがみ夢未来トーク～もがみの地域力向上を目指して～」を開催し、300名を超える参加者が集まり、会場は超満員になりました。

はじめに、齋藤知事が「今後の県政運営」の説明をした後、地域づくりで活躍されている5名の方々から「地域づくりのための意見発表」をしていただきました。

参加者からは、「地域自主防災組織のあり方」や「高齢者の技能の活用方法」についてなど多数の意見が出されました。

知事は質問に答える中で、最上8市町村の合併新法の期限内合併を強く訴えました。

総務課 0233-29-1360

## 温泉でゆっくり くつろいで

今年6月14日に発生した「平成20年岩手・宮城内陸地震」により被災され、仮設住宅等で不自由な生活を送っている方々に、心身の疲れを癒していただくため、最上町の赤倉温泉、瀬見温泉、大堀温泉に御招待しました。52名の参加者は9月17から18日にかけて、3温泉の旅館等で日ごろの疲れを癒していかれました。

◇受け入れ旅館等

**赤倉温泉** わらべ唄の宿湯の原・あべ旅館・悠湯の宿湯澤屋・みどりや旅館・しゃくなげ荘・旅館最上荘・旅館田代館

**瀬見温泉** 旅館小川屋

**大堀温泉** 健康福祉プラザ保養センターもがみ

総務課 0233-29-1360



赤倉温泉でのお出迎えの様子

## 出前知事室の開催

9月4日、戸沢村の野口地区33名のみなさんが参加して出前知事室が開催されました。

はじめに、野口地区の代表から、昨年地域づくりで農林水産大臣賞を受賞したこと、山形セレクション米の栽培をしていること、東京都北区と都市農村交流をしていることなど、地域一丸となった取り組みの紹介がありました。

懇談では、地区の若手の農業経営に関するアドバイスについてや老朽化した公園の遊具の整備についての要望等がありました。

総務課 0233-29-1360



戸沢村野口公民館にて

## 「最上传承野菜で本格イタリアン」

9月2日に新庄市内の新庄南高等学校と新庄神室産業高等学校の生徒を対象として、最上传承野菜夏の料理講習会が開催されました。料理講習会は最上传承野菜推進協議会と最上传承野菜料理研究会の主催で開催されたもので、特に若い世代の方に地域に古くから伝わる野菜を知っていただくことを目的としています。

今回はトラットリア・ノンノの佐藤伸也氏を講師として、エゴマと最上赤にんにくを使ったイタリア料理を作りました。参加した高校生からは、「最上传承野菜をもっと知りたい」などの感想がありました。この料理講習会は、秋、冬にも予定されています。

産業経済企画課 0233-29-1306



## 新型インフルエンザに関する研修会

9月11日最上総合支庁で新型インフルエンザに関する研修会が開催されました。医師会、病院、消防署、警察署、市町村などの関係者約100名が集まり、東北大学大学院准教授 加来浩器（かくこうき）先生が「新型インフルエンザの基礎知識と発生時における各機関の役割と対応について」と題して講演したあと、患者の診察方法や入院病床の確保などについて活発な意見交換が行われました。

新型インフルエンザは近い将来、発生・流行の可能性があり、地域住民の生活にも大きな影響を与えることが心配されます。今後も引き続きその対策のための体制整備に努めます。

地域保健予防課 0233-29-1267



## 高齢者虐待対応スキルアップ研修会

～気付けば変えられるかもしれない～

9月12日、各市町村の地域包括支援センターと介護サービス事業所等の職員を対象に、虐待対応の心構えや、役割分担などについて研修会を開催しました。

参加者からは「自分の役割が理解できました。早期発見・早期通報に少しでも役に立ちたい。」という感想が寄せられました。

福祉課  
0233-29-1276



## やまがた地鶏 求評会

大蔵村四ヶ村では、地域づくりの一環としての特産品づくりに挑戦し、「やまがた地鶏」を飼養してきました。

9月17日にふるさと未来館において、本格的な販売に先立ち、管内の温泉旅館、飲食業及び流通関係者等から参加していただき、求評会を開催しました。参加者からは「甘みも旨みもしっかりあり、柔らかい肉質でした。」など高い評価をいただきました。

産業経済企画課 0233-29-1306

## 地域自治体病院懇談会

9月18日最上総合支庁において「地域自治体病院懇談会（最上地域）」が開催されました。病院を開設する自治体が策定することとなっている「公立病院改革プラン」に向けた提言をまとめるため、管内の自治体病院長、自治体診療所長、地区医師会長、保健所長等が集まり、地域の方に安心・信頼・高度な医療を提供できる体制を確保する視点から、最上地域における自治体病院の課題（医療連携や医師確保等）等について活発な意見交換を行いました。



保健企画課  
0233-29-1256

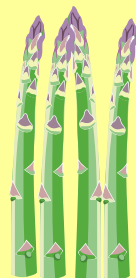
## 鮭川村を中心としたアスパラガス生産組織が新たに設立！

鮭川村では、平成20年度より新規導入作物としてアスパラガス生産に取り組んでいます。現在は生産者11名で約140アールの作付けがなされています。

来年度には生産者17名で約400アールの作付けが予定されていることから、生産者相互の栽培技術の向上や情報交換等を目的に、9月10日、鮭川村農村交流センターで、JA山形もがみ園芸生産組合の新しい部会となるアスパラガス部会の設立総会が開かれました。

設立総会では、平成23年度のアスパラガス出荷額5千万円を目標とする振興計画が示され、その実現を目指して生産振興に取り組んでいくことが確認されました。

農業振興課 0233-29-1317



## 「花フェスタ2008もがみ」 盛会に終了



最上広域交流センター「ゆめりあ」を会場に9月7日（日）、  
「花フェスタ2008もがみ」が開催されました。

最上地域においては、地域の気象条件を活かした、トルコぎきょう、りんどう、ばら、花壇苗、鉢物など花きの生産額が年々増加しており、栽培技術の向上を目的とした品評会を実施し、地域の皆さんに地元で生産される花きの販売を行ないました。

開会セレモニーでは向陽幼稚園の鼓笛隊のちびっ子たちがあふれるパワーを存分に発揮した演奏を披露しました。今年は特別企画として「フラワーアレンジメントショー（講師：なかやまれいこ氏）」を実施し、最上地域で生産された花きを使った作品を多数作成していただきました。

農業振興課 0233-29-1317



## 第7回最上地域連合畜産共進会

8月30日、最上家畜市場において最上地域連合畜産共進会が開催されました。本共進会は、平成10年から最上地域の市町村・農協・改良組合等の関係機関・団体が実行委員会を組織し、肉用繁殖雌牛及び子牛を対象に開催しており、最上地域の和牛の改良や飼養管理技術の向上に多大な役割を果たしています。

当日は、約100名の畜産関係者が集まりました。

最上地域の8市町村から選び抜かれた41頭の肉用牛が出品、第1部から第5部にわかれ審査され、金山町の今村彦兵衛氏がグランドチャンピオン賞を受賞しました。

農業振興課 0233-29-1316



## 全国の森の芸術家が競演！ 東日本チェーンソーアート競技大会開催

9月6日・7日、山形県遊学の森ぶなのき広場（金山町）において、第3回東日本チェーンソーアート競技大会が開催されました。北は北海道、南は岡山県からこの大会を待ち望んでいたカーパーズ（チェーンソーで彫刻する方々）25名が集結し、2日間にわたって自慢の腕を振るいました。

来場者は過去最高の2,600名を数え、熱心なりピーターの姿も見られました。

また、落雷の被害を受け、伐採された羽州街道の「往還の並木（新庄市泉田）」の杉の大木に世界チャンピオンの城所啓二氏が挑み、地元の伝説にちなんだ「竜馬」を完成させ、古木に新たな命を吹き込みました。

森林整備課 0233-29-1348



## 巨木の森コンサート

9月13日、真室川町女甌山のブナ林特設会場で、7回目となる「巨木の森コンサート」が開かれました。今年は、ギタリスト國松竜次さん、ヴァイオリニスト松本蘭さん、そしてピアニスト桑生美千佳さんの3名の演奏者を招いて行われ、マイナスイオンに包まれたブナの森でのすばらしい演奏が、訪れたみなさんを魅了しました。

商工観光振興室  
0233-29-1311



## 「東北のへそ観光まつり」大賑わい

最上地域・秋田県雄勝地域・宮城県大崎地域は、地図で見ると「東北のへそ」。この3地域の合同観光PR「東北のへそ観光まつり」を、9月8日、9日の両日、仙台市勾当台公園で開催したところ、14,000名の入場がありました。

最上地域からは、特産品販売コーナーに産直団体など9団体が出店、また、郷土芸能には戸沢村の創作太鼓「鼓笛」など3団体が出演し、地域のPRを行いました。初めて参加した「新庄もがみそば街道」のそば打ち実演・試食などが会場の注目を集めました。



## 最上地域男女共同参画講座

9月28日（日）、戸沢村中央公民館に於いて、漫才師「林家ライス・カレー子」さんを講師に迎えて講座を開催しました。参加者は、笑いの中にも、男女の参画から環境問題まで楽しく学びました。

地域支援課 0233-29-1244



## 「秋の交通安全県民運動」出発式

交通安全に対する意識の高揚と交通事故の防止を目的に、9月19日、JR新庄駅前アビエス広場において盛大に開催されました。

向陽幼稚園児による、鼓笛隊や日本太鼓のほか、JR新庄駅前、参加者200名によるパレードが実施されました。





# お知らせ



## 10月はキノコ中毒予防月間です。

秋たけなわ、山好き人間にはキノコが気になる季節です。でも楽しいはずのキノコ採りにも思わぬ落とし穴が潜んでいるかもしれません。見た目だけの判断は危険です。

左は食べられる「タマゴタケ」、右は神経毒を持つ「オオワライタケ」です。どうですか？



キノコに関する相談は下記まで。

最上保健所 生活衛生室 電話 0233-29-1261

## “最上地域最大の秋まつり” 「もがみ大産業まつり」の開催

- 日時 10月11日(土) 10時～17時  
12日(日) 10時～16時
  - 場所 最上広域交流センター「ゆめりあ」
  - イベント内容(主なもの)
  - ゆめりあステージ  
こども(幼稚園児・保育園児)、各団体、  
芸能人(山本高広)のステージショー
  - ホールアベージュ: アニメ放映
  - もがみ体験館: 新庄神室産業高校コーナー
  - 北口駐車場テント村  
刈り上げ市、沖縄物産館、福引抽選会
  - JR新庄駅東口  
山形新幹線の見学、フリーマーケット、はたらく車展示、  
バッテリーカー、ハーレー新車展示、住宅フェア
- 産業経済企画課 0233-29-1307

## レジ袋無料配布をやめます！ ～マイバッグを持参しましょう～

環境保全運動の一環として、10月26日(日)から新庄市内スーパーなど6社9店舗でレジ袋の無料配布を中止します。

郷野目ストア市内各店(中央店・松本店・桧町店・泉田店)、ビックフレック新庄店、びっくり市新庄店、マックスパリュ新庄店、ヤマザワ新庄店、ヨークベニマル新庄店(五十音順)

環境課 0233-29-1286

## 募集

### 「夏に挑戦！」いちご新産地創造 ～「夏秋いちご産地」の形成をめざして～



- 日時: 10月16日(木) 17時30分～
  - 場所: 最上広域交流センター「ゆめりあ」ホールアベージュ
  - 基調講演:
  - ・「青果物流通の多様化を踏まえた産地マーケティングのあり方」 高崎経済大学学長 吉田俊幸 氏
  - ・「夏秋いちごの市場性と産地に求めるもの」  
(株)東京青果 常勤参与 熊倉紘司 氏
  - ★講演終了後にワークショップを実施いたします。
- 農業振興課 0233-29-1316

## 「リゾートみのり」に乗車してステキな旅を！

仙台・宮城デスティネーションキャンペーンがいよいよ10月からスタートします。

事業の一つとして10月1日から12月31日(12月15～20日を除く)まで「リゾートみのり」が陸羽東線を走ります。この機会をとらえて、沿線地域が一丸となって食文化、景観、温泉など最上地域の素晴らしさをアピールしていきます。

- 運転日 1日1往復
- ・仙台～新庄(土・日・祝) ・小牛田～新庄(平日)
- 時刻
- ・仙台発9:24(小牛田発10:06)、新庄着12:28
- ・新庄発14:57、仙台着18:19(小牛田着17:21)
- 仕様
- ・3両編成で定員104名 全席指定
- ・2両目にイベントスペース



### 「リゾートみのり」-ロメモ

「みのり」という名前には、陸羽東線のキーワード「稲穂」実りある収穫、「温泉」実りあるひととき、「紅葉」実りの秋「実り多い旅にしてほしい」という意味が込められています。

商工観光振興室 0233-29-1312

## 10月は 「やまがた夢未来 健康づくり推進月間」です

健康づくりの合言葉は、「1に運動、2に食事、しっかり禁煙、3に毎年健診」です。将来の健康のために、できることからひとつ始めてみませんか。



地域保健予防課 0233-29-1268

発行元 山形県最上総合支庁 総務企画部 総務課総務係  
電話 0233(29)1360 FAX 0233(23)2605